

令和3年 ミニトマトの生育概況・推移

撮影地：和歌山県印南町



10月29日



コメント（10月29日時点）

夏に定植したミニトマトは順調に生育し、すでに出荷が始まっています。病害虫の発生も少なく、多くの果実が赤く着色しています。

今後、気温の低下とともに、さらに食味が良くなり、来年の初夏まで、高糖度のブランドミニトマトを計画的に出荷します。

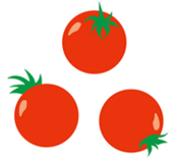
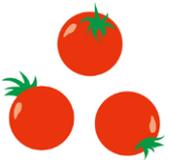
9月30日



コメント（9月30日時点）

定植後40日以上を経過し、茎葉は順調に大きくなっています。糖度が高くて美味しいミニトマトを生産するため、樹勢を適度な状態に保つよう、きめ細かな栽培管理に努めています。

果実も直径1cm以上に大きくなっています。定植の早い一部の農家ではすでに収穫が始まっています。



8月30日



コメント（8月30日時点）

JA 紀州では高糖度のブランドトマト生産に取り組んでいます。

撮影したハウスの栽培品種は「キャロル7」で、8月10日に1条に定植し、現在、草丈60 cm程度に生育しています。

ハウスは日中遮光を行って暑土を防ぐとともに、入口には防虫ネットを張って「コナジラミ」などの害虫の侵入を防いでいます。